

すべての原発いましてなくそう！ 全国会議

第34号

2016.2.11発行

カンパ 5.0円

発行：NAZEN 事務局

東京都杉並区天沼 2-3-7 さかいビル 3B

info@nazen.info

# NAZEN 通信



## 全国各地・福島への労働組合に 被曝労働拒否の闘いを広げよう

みなさん。安倍政権は1月29日に高浜原発の再稼働を強行した。絶対に許されない。東京から裁判官を送って仮処分を破棄させ、その翌日には関西電力が核燃料棒を搬入。九州電力同様、原子力規制委の基準である「重要免震棟設置」を再稼働後に撤回。再稼働すればこっちのものだと言わんばかりだ。伊方原発の再稼働を今春にも狙うだけでなく、最大の犯罪組織・東京電力までもが柏崎刈羽原発の再稼働を進めようとしている。

インドとの原子力協定締結、イギリスへの原発輸出(4兆円!)が決まり、青森・六ヶ所再処理工場での核燃料の再処理も含むパッケージとするやり方は、再処理工場の実質国有化とセットで、日本の核武装にも直結している。

福島ではついに、原発事故から5年を迎える。残念ながら、チェルノブイリ事故と同様、5年をもって健康被害が一気に拡大する現実、小児甲状腺がん153名という形で示されている。来年3月での避難区域解除に向かって、50ミリシーベルト以下の区域に除染労働者を突入させる現実。病院もない場所への帰還は「姥捨て山だ」という怒り。1日600トンの汚染水が5月にパンクすると言われる収束作業。中間貯蔵施設や農業・漁業の問題。安倍の「なかったことに」という思惑とは逆に、すべてが5



アンゲリカ・クラウゼン博士 (IPPNW 欧州副代表) がドイツから訪日し記者会見。チェルノブイリ事故や被曝労働の実態から福島の健康被害に警鐘を鳴らした。司会は映画「A2-B-C」のイアン・トーマス・アッシュ監督 (2/4 外国特派員協会)

年をもって臨界点にある。声をあげざるをえない福島の怒りを運動の魂に、職場・地域で立とう。

とりわけ、被曝労働拒否の闘いを全国に！ 戦争動員を拒否して衝撃を与えた海員組合のように、現場は絶対に求めている。東京はじめ全国の闘いになったとき、必ず福島に、収束作業員にその火はうつる。反原発運動は労働者の誇りと実力で原発を止め、廃炉を勝ち取る段階に発展する。職場・地域で組織拡大へ奮闘しよう。一人ひとりの行動が福島につながっている。3・11郡山へ、全国から集まり声をあげよう☆(織田)

◆ 3・11郡山へ 青年対談 小宅貴史さん 西納岳史さん	…	2～3ページ
◆ 伊方原発再稼働阻止へ NAZEN 愛媛座談会《後編》	…	4～5ページ
◆ 映画「A2-B-C」日比谷上映会報告 東京中部ユニオン 北村さん	…	6ページ
◆ 連載 3・1ピキニデーへ① 労働組合の復権と被曝労働拒否	…	7ページ
◆ スケジュール & 会計報告	…	8ページ

変える力はここにある! 私たちが歴史を動かす!

We have the power to change history!

3.11反原発★福島行動'16へ!

# 原発労働者をつながる ことを目標に

青年  
対談

おやけ  
小宅貴史 (NAZENいわき共同代表)  
×西納岳史 (いわき合同ユニオン書記長)



3・11手ぬぐいを広げる小宅さん

## ◆自分の言葉で語ろう

小宅 いわきでは青年労働者の学習会を定期的にやってるんですが、最近は「自分の言葉で語る」ということが議論になってますね。僕自身も3・11の経験とそこから今にいたるまでの思いを自分の言葉で語ることが大事なんだと改めて考えました。

西納 いわき合同ユニオンも結成から3年間で2ケタの労働者を組織する労働組合になりました。今は新たな闘いに打ってでています。その中で、とりわけ女性労働者が自らの思いや怒りを「初めて形にすることができた」と話してくれている。原発労働者の方も対談集会の後に、「これを書き残すことが自分の使命なんだ」と言って、震災当日からの収束作業の実態を綴ってくれました。

## ◆3・11が人生を変えた

小宅 僕は3・11の当日は隣県の工場で派遣労働者として働いていました。地震の後は会社から自宅待機命令が出されましたが、13日になると親戚から「原発が危ない」という話を聞いて白河市に避難しました。その後いわき市に戻り職場に顔を出して、15日には近所の水道局に水汲みに行きました。でもその時がちょうどいわき市を放射能のプルームが直撃して、大量のヨウ素が降っていた時だったんですね。その後は栃木県的那須に再び避難しましたが、3月22日には会社から呼び出しが入って、翌日には工場も再開しました。

原発事故直後からいわきのローカルFMラジオでは山下俊一の放送をさかんに流していた。

内容は知っての通りですが、おかしいなと思うと同時に、安心を求めてしまっている自分もいたと思います。ああいう状況の中で原子力ムラの勢力に主導権を与えてはならないと強く思います。

震災と原発事故からの5年間を振り返って、自分としては被曝との闘いだったと同時に、福島を自分がどう見ているのか、福島がどう見られているのかということを常に問い続ける連続だったと思います。隣県で働いていると「福島は大変だな」あるいは「福島はもう大丈夫だろう」という声が聞こえてくる。でも放射能には県境なんてないんですね。



東電いわき事務所にデモと申し入れ (2014年2月  
一番左が西納さん 二番目が小宅さん)

## ◆原発労働者の感覚に学ぶ

西納 原発労働者の方の「事故当時から何も変わっていない」という言葉はすごい重みがある。政府は「復興キャンペーン」を使って、時間的にも空間的にも3・11原発事故から民衆の意識を隔離・分断しようとしているけど、日々原発で働く労働者にとっては自分たちの職場と労働がまさに3・11その日から切れ目なく続いている。地続きになっているんです。原発労働者の訴えから、僕らは3・11その日に常に立

ち返ることができるんです。

**小宅** 民主党の野田政権の時に出された「原発事故収束宣言」に一番怒ったのは原発労働者です。「事故が収束したなんてとんでもない。ふざけるな！」と。昨年8月のいわきでの集会で発言された除染労働者の方も「安倍首相は『東北の復興なくして日本の復興なし』と言ったが、それを担っているはずの自分たちは最低限の労働条件すら保証されていない。このペテンが許せない！」と訴えました。

地続きということ言えば、3・11以前から地続きなんですよ。原発を推進し、反対する者を踏みにじってきた体制は変わっていない。原発をなくすためには、この地続きを民衆の力で断ち切ることが不可欠だと思います。

#### ◆自分たちが現実を変える

誰かに任せていても現実を決して変わらない。今こそ福島県民がもっともっと主体性を発揮しないといけないと思います。いわき駅前の反原発金曜アクションも一貫して続けられています。反原発集会を3・11当日にやることの意味は、福島で生きる僕たち自身への問いかけだと思います。問いかけて、「自分たちは何をすべきなんだ」という自己規定の闘いとしてやり抜く。安倍政権に対して「お前たちの好きなようにはさせないぞ」という声を叩きつける日にしたい。

**西納** 現在進行形の収束作業の最前線で格闘している原発労働者の訴えこそが、福島にかけられている「復興」キャンペーンの重圧を突破する核心の力を持っていると思います。いわきの人と話をすると、家族や親戚、友人や知り合いの中に必ず原発や除染で働いている人がいる。被曝労働は決して他人事ではない。被曝労働の最前線で働く労働者のために、自分たちに今何ができるかを誰もが真剣に考えている。動労水戸の被曝労働拒否の闘いや、いわき合同ユニオンの地域に根を張った闘いが、「労働運動の分厚い力関係で原発労働者を守ろう」という一つ



いわき駅前で団結がんばろう！（2014年2月）

の回答を示せていると思います。

「いわき合同ユニオン支援共闘会議」のスローガンは「だれもが人間らしく生きられる世の中のために、たたかう労働組合を、共に支えよう・共につくろう！」です。「動労水戸支援共闘」と一体での具体的な行動方針として、地元福島でこそ拡大したい。

#### ◆春闘と一体の3・11

**小宅** 今年の3・11は「春闘と一体の3・11」ということが実行委員会で議論されています。労働組合を甦らせ、自分たちの現場で闘うことが、遠回りのように見えて、実は原発を止めていく最大の力になるということだと思います。

**西納** 全国での原発再稼働阻止の闘いは、労働組合の直接的・具体的な闘いに展望があるというところに課題が絞り上げられてきていると感じます。動労水戸の被曝労働拒否の闘いに絶大な信頼を寄せてくれた原発労働者につながることを通して、僕たちはその挑戦権に手をかけていると思います。

#### ◆原発労働者との団結を求めて

**小宅** 原発労働者が3・11で僕らの闘いとつながることを目標に取り組んでいきたい。そのためにはいわき合同ユニオンの一つ一つの闘いを全力で闘い抜いて、地元いわきの地域の中にもっともっと打って出ていくことが求められています。NAZENいわきも、福島の実況と原発労働者の声を全国に発信していく役割を担います。全国の仲間の期待に応えられるように、これからも頑張っていきます。

# 労働者による原発廃炉から 核戦争阻止へ



愛媛県庁前金曜行動  
は1月1日から第18  
0回でスタート!

## ■組合の組織拡大へ

**宇都宮** 原発事故直後には、実際に労働組合がしっかりしているところほど、福島原発には近づいていないですよ。今度事故が起きたらますますどこからも来てくれなくなる。すると自治体労働者、原発労働者、電力労働者が応援の来ない中で被曝することになる。特に市町村の自治体労働者は住民を残して逃げるわけにはいかない。そういう意味では絶対に原発は動かしてはならないと思いますね。

**中村** 自治体や警察官は当然いくもんやとなっている。基準もひどい。

**徳丸** 介護現場はまさにそう。もう無理だって言おうって。

**中** 「どうしたら避難できるか」よりも元を絶つのが一番。それをはっきり言わんのは許せんのですよね。

**徳** そう思うと県庁が鍵を握っているんですよ。

**平野** 県庁は権力機関の中核。現場の労働者が声をあげていくためには労働組合が必要だなと思うんです。

**中** 個人で言えんことが言える。原発のことに限らずですけどね。

**平** 組織を拡大して組合の影響力が大きくなるほど自由にものを考えたり言える。

**徳** 僕からも勧めておきましょうか(笑)。組合入ってくれて。

## ■安全問題を武器に

**平** 労働安全・衛生に関して資本・当局には安全・衛生配慮義務がある。愛媛県職労の闘いは、いろんな職場で参考にできるのでは。

**徳** 労働安全衛生法第25条。「事業者も労働災害発生の急迫した危険があるときは、ただちに作業を中止し、労働者を作業場から待避させる等必要な措置を講じなければならない」と定められている。

**中** これを法律や規則に訴えるのではなしに、9回2アウト満塁からでも規則を変える人た

ちとの闘いなので。法律は線量の限度をあげるとか、「ただし」とか言ってくる。それを跳ね返していくのが労働組合になるんだろうと思います。

**宇** 労働者が最後、事故の処理をしなければならないということをわかって欲しい。組合が自分とこの内輪で安全・衛生を叫んでいると思われるだけではダメだと。

**平** 県の職員が事故が起きたときに自分たちはいきたくないんだというレベルではないんだと。

## ■再稼働などしている場合か

**平** 伊方原発50キロ周辺住民の有志の会が、伊方町全戸アンケートで、4000戸のうち1300戸まわって、反対は53.2%、賛成は26.2%。地元以外の市町村で唯一賛成を表明した八幡浜市では、市長に対し住民投票をしろという署名が1ヶ月で3万人ちょっとの有権者の中で1万1千人分集まった。署名してくれる人はみんな反対だと。その一方で四国電力は春にも再稼働すると言っています。2~3月過程は再稼働許さない闘いです。

**徳** 結局核のゴミとか、東京電力の事故収束はどうするんやと。根底には少子化がある。収束するにしても作業員を確保できない。核のゴミも10万年、想像もできない長い時間を本当にやっていけるのかって。

**平** 廃炉問題ですよ。他のことやっとならなくていいんかって話ですよ。

**中** 当然東京電力が当事者なんだけど、やらせてきたのは国じゃないですか。廃炉にしても、体制を確保して宇宙服みたいな装備が必要。タイベックスーツ一枚でピーピー鳴ったら引き上げる、アラームを止めるとかじゃなくて。その上再稼働したらそれもさらに増える。

**宇** 再処理したら原発一年分の放射性廃棄物を1日です、大変なことなんだ。使えば使

うほど毒が増していく。最後取り出したプルトニウムがとんでもないことに使われる。

### ■福島の実現に立ち向かう

平 5年目の3・11福島。福島の実現をなかったことにしようとしている連中と闘って命の叫びを一緒にあげていくことが、原発反対の闘いにとって重要だと思いますよね。子どもの甲状腺がんに限っても、とんでもない事態が起こっている。

宇 ずっと反対しとった福島の人が事故後、避難所でなんとも空しい表情をしていた。こんなつらいことが世の中であるだろうか。

中 オリンピックが福島を苦しめているのは間違いないですよ。実際作業する労働者がとられ、建設資材高騰、何もかもですよ。

### ■非正規労働と向き合い

徳 僕も最初はやろうとしたし、声もかけたけど、なかなか組合を組織することが難しかった。若い20代後半くらい、大半が女性パートやから、いづらくなることまで想定して文句言わんでも「お父さんが収入があってプラスになれば」という人も多い。

平 原発労働者は、半分ピンハネされているでしょ。劣悪な労働条件で、いつ被曝で病気になるかわからない状況のなかで、人なんか集まらないじゃないですか。世の中にとって大切な仕事なんだという誇りをもって働けるような職場にしていかなければならない。そのためにも原発の中にちゃんとした労働組合がないといけない。

徳 誇りをもって働けるということは大事なことだと思いますね。ピンハネされて当たり前のような世界では、原発は止められるものではない。

### ■高浜の闘いとともに

中 2～3月、高浜と伊方は焦点化してくる。組合としてやっぱり、なんらかの闘いをやっていかないかんと思いますね。2月28日に舞鶴で行動が行われる。京都府職労舞鶴支部の仲間たちです。

平 みんながそれぞれ孤立して苦悶しながらやっている現状を変えていくためには、つながりをつくる恒常的なものは必要ですよ。自治体の労働組合が呼びかければ、もちろん伊

方町の組合が呼びかければ全然違うと思うんです。

宇 原発に近い自治体職員ほど、地元の住民ほど声をあげにくい。電力会社の労働者ほど声をあげにくい。まわりから声をあげていくことが大事。労働組合では声をあげられるし声をあげていくのはすごく大切なことやなと思います。

中 県庁の中で労働組合がやってくれるとありがたいと言われると本当に励まされますよね。そういう人らと一緒に、地元の人たちとつながるような集会ができればいいですね。

### ■廃炉から国際連帯、戦争阻止へ

徳 東電の原発事故をどうするんや、核のゴミどうするんやと我々日本人に課されたんかなと思います。今後中国や他国も事故をやるでしょう。事故を起こしたときに放射能を、共存するつもりはないけど、コントロールし収めんといかん。そこを起点にしたら世界戦争も逆に止まる、止めるくらいの気持ちで。逃げずに行こうと。

中 進めようとする人たちと、僕ら労働者・市民の闘い。間違いなく現場は僕らの仲間しかおらんわけで。でもコントロール、閉じ込める役目をやっていくのは労働者なので、労働者が考えた廃炉、再稼働の阻止です。中国でも反対運動が起きているんで、台湾でも韓国でも国境を越えてみんながつながって止めれると。動かそうとするなら僕ら反対するけど、やめようというときに反対の行動を起こせるのはごく一部やと思うんで、僕らがつながることで止めれると思います。

宇 介護の最前線でがんばっている徳丸さんと出会えたことが一番大きい。労働者がひどい状況でしょ、今どこでも。福島でも、これから名もない病気で亡くなっていく人が増える。線量オーバーで亡くなる人とかでとるんだと思うんですけど、そういうのは許せんという気持ちでやっていきたい。核兵器もなくして、戦争もなくするというのが、その先に見えてくると思うんです。原発くらいは止めないと、という思い。

平 再稼働を許さないために頑張っていきたいと思います。

# 映画『A2-B-C』日比谷上映会報告



東京中部ユニオン・北村美和子

## ◎もっと多くの人に観てほしい！

年明け早々の1月17日、東京・日比谷コンベンションホールで、待望の『A2-B-C』の上映会を開催しました。予想を超える180の方が参加。初めてお会いする方ばかり。国会前や日比谷公園、街頭で合計5千枚のチラシを配布しました。ふくしま共同診療所のニュースや週刊金曜日に告知していただき、ネットも駆使し、熱い思いで準備してきた甲斐がありました。

「山形から来ました。観たいと思っていた時、中止になってしまって。今日は、新幹線で来ました」と現れた若いカップル。「ふくしま共同診療所を支援しています。お友達からもカンパを集めて来ました」と優しい笑顔で話かけてくださったご婦人。「安倍政治を許さない」「反原発」の小さなステッカーをつけ、おそらく国会前抗議にかけてつけていらっしゃる方々も多数参加。会場は早くから一杯になりました。

映画の上映の後、椎名千恵子さんのお話では、イアン監督の映画配給停止の際の葛藤と再開にいたる思いが紹介され、ふくしま共同診療所の杉井吉彦医師からは、「映画で映しだされている2年前より、今は一層深刻な状況である」と医療現場での格闘を語って下さりました。終わった後も、椎名さんや杉井さんと話し込まれる方々がたくさんおられました。

参加されたみなさんの表情から、悲惨さを嘆くのではなく、この状況に立ち向かって行こうという明るさと会場に広がる連帯を感じました。大成功です。東京から、フクシマを思う気持ちを届けたい！

## ◎全国各地で上映と講演を！

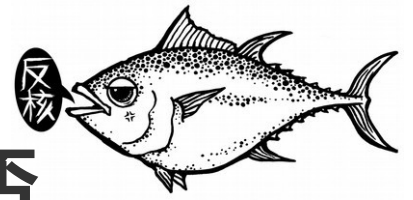
この企画をとおして、『A2-B-C』の上映と「5年目の福島の実現」のお話を多くの人々が求めていることを実感しました。

たくさんの方々に、この映画と「福島の今」を届けましょう！ 原発事故への怒りは、出口を求めています。全国で上映運動を！



## ☀ 参加された方の感想 ☀

- ・大変素晴らしい映画でした！全国各地で上映されることを切望しています（女性 50 歳）
- ・ニュースで知ることのない貴重なお話を聞かせてもらい、改めて考えさせられました（男性 38 歳）
- ・母親や子ども達の生の声の実感でき、福島の実現の大変さを、東京にしながら共にしていくことができたらと思いました。（女性 66 歳）
- ・福島の状態をこのような形で上映、日頃活動されていることに対して感謝申し上げます。（男性 57 歳 避難者）
- ・新鮮な印象を受け、またやるべきことはこれからだと強く思った。上映運動頑張ってください。（女性 75 歳）
- ・杉井医師の熱のこもったお話、とても感動しました。先日、わずかですがふくしま共同診療所のためにカンパしました。この映画の上映会を自分でもやりたいと思います。イアンさんのお話もうかがってみたいのでメールを送ります。
- ・本当に「イカッテ」いいときがある。（男性 62 歳）
- ・私が住む「ふくしま」では当たり前なのに配給停止になるとは驚きです。日本の政治、行政、経済がすべてにおいて「金」であることは日本の未来は真っ暗で、子ども・孫たちがかわいそうです。（男性）
- ・自分の認識では、放射線量という落ちている情報をテレビのニュースなどで判断していますが、内部被曝の長期的に継続する健康問題を見落としていたことを、はっきり映画からつけつけられました。（女性 63 歳）
- ・政府、東電に対するの怒り、声を上げる事の大切さを改めて強く思いました。（男性 64 歳）



## 労働組合の復権と被曝労働拒否

### ■戦争の記憶と戦後革命からレッドパージ

杉並の原水禁運動のただ中で、たくさんの労働組合がレッドパージと朝鮮戦争の打撃から息を吹き返していった。その中の一つ、高円寺にあった気象研究所を追ってみたい。

戦争中は、天気の情報に軍事作戦にとって重大な情報として軍事機密とされていた。

「飛行場や港をつくるにしてもまず気象兵が風の様子などを調べるため、一番最初に行き、撤退する場合には、他の兵を全部送り出してから撤退するので、気象関係者は戦中、人員が増え、また戦死者も多いのです」（増田善信・気象研究所の原水禁運動当時の労組活動家）。気象研究所の前身は1942年に中央气象台に設置された研究課だ。

敗戦と戦後革命期の中で、46年、中央气象台職員組合が結成され、すぐに全国気象職員組合の結成に発展。しかし47年2・1ゼネストの中止・敗北の後、48年にはGHQによる人員削減攻撃が始まる。必死に抵抗するも7112人が5205名に削減された。官庁の削減としては最大規模だった。「そして翌1950年、わずかに残っていた組合活動家をレッドパージで追放した」「全気象労働組合は全官公労の議長を出していたほど強かったから、徹底的に弾圧されたんだと思います」（同）。

全気象は解散に追い込まれるが、気象研究所は踏ん張った。「当時、団体規制令に従い、共産党員の名前を登録すべきという共産党の方針があったんですが、気象研究所の組合員はそういう方針に従ってはずいといって、3人だけ登録してそれ以外は登録をやめたんです」（同）

### ■職場の民主化闘争と反核運動が結合

組合への強い圧力の中、文化サークル活動を通して息を続け、50年のストックホルム・アピール（旧ソ連の原爆保有宣言に対する米トルーマン大統領の水爆製造命令をうけて始まった署名運動）の署名を職場で取り組

み出す。しかし58筆を集めた時点で総務課長が「そんなことはアカのやることだ」と署名簿を委員長の前で燃やす。「はらわたが煮えくり返る思い」で「RS」というマル秘サークルを結成。職場の民主化運動の中で6、7人から50人へ拡大。「若い人たちが意見をいえるようになってきたんですね。中心になった若手の人たちが原水禁の運動に参加するようになった」「やはりぽっと54年に運動が始まるんじゃないんですよ。気象研の場合も労働組合をなんとか立て直そうと職場民主化の運動をしている中で、ビキニ水爆事件がおこって、わっとたちあがったんじゃないでしょうか。それまでの鬱積していたものはじけたというか、1950年の弾圧で運動が停滞する中でなんとかしようという機運もあって運動がおこってきたと思うんです」

（同）。戦時下の軍隊式の職場支配を覆す解放感が、原水禁運動へとつながっていった。

### ■被曝労働拒否は歴史的地平

気象研究所の労働者たちは、気象観測を通じていち早く水爆実験の事実をつかみ、放射能雨の研究など、住民の安全を守る闘いを開始した。アメリカ政府の妨害を跳ね除けて海洋調査に出かけた俊鵲丸（しゅんこつまる）にも乗船。杉並の署名運動にも労働組合として参加し、学習会の講師としても運動の拡大に力を発揮した。

今回のビキニデーの連載は、ビキニ水爆実験と第五福竜丸の被曝を契機に原水禁運動が生まれながらも、同時にビキニ被曝者と原発労働者の被曝労働の問題を運動から排除する形で原発導入の道を開いてしまった歴史を浮き彫りにしてきた。連載の最後に、ビキニを契機に復活を遂げていく労働組合の姿を取り上げた。動労千葉や動労水戸のように、被曝労働と闘う労働運動に連なる労働者の息吹がここにある。3・11以降の反原発運動は、階級的な労働運動の発展と一対で発展する歴史的課題を今突破しようとしている。（終）

## スケジュール

■埼玉・町長の決断=子どもたちを被曝させない  
 と き 2月20日(土) 13:30～(13時開場)  
 ところ パストラルかぞ・展示室  
 ゲスト 前双葉町長・井戸川克隆さん  
 ふくしま共同診療所・布施幸彦さん

主催 実行委員会 090-3312-9895

■映画『A2-B-C』東京・すぎなみ上映会

と き 2月21日(日) ①13:30～②16:30～  
 ところ セシオン杉並・視聴覚室

主催 杉並上映実行委員会

連絡先 NAZEN杉並 090-2442-2811 (飯塚)

■NAZENナガサキ結成4周年の集い

と き 2月21日(日) 午後1:30～  
 ところ 長崎県教育文化会館2階大会議室  
 講演 崎山比早子さん

主催 NAZENナガサキ 095-800-1107

■すべての原発なくそう 神奈川集会

と き 2月27日(土) 14時開会  
 ところ 横浜市戸塚公会堂・1号会議室

講演 照沼靖功さん(動労水戸)

主催 NAZEN神奈川(090-9108-1351 中村)

■映画『A2-B-C』東京・足立上映会

と き 2月28日(日) ①14時～②17時～(終了後感想・交流会あり)

ところ 足立区勤労福祉会館(綾瀬駅西口3分)

主催 足立上映委員会・放射能を考える下町ネットワーク(共催) 後援 NAZEN江戸川

連絡先 03-5879-6809 メール noradioactivity@gmail.com

■映画『A2-B-C』名古屋上映会

と き 2月28日(日) 13時～  
 ところ 名古屋YWCA会議室

主催 NAZEN東海/共催 東海合同労組  
 080-3624-6434 (岩田)

■ビキニ水爆実験・被ばくから62年

原発なくせ!戦争やめろ!3・1ビキニデー東京集会

と き 3月1日(火) 午後7時～(開場6時半)  
 ところ 杉並区勤労福祉会館ホール(杉並区桃井4-3-2)

講演 ふくしま共同診療所院長 布施幸彦医師

主催 NAZEN東京 090-2442-2811 (飯塚)

## 年会費と保養カンパを お願いします

NAZENの活動をぜひ年会費(1月～12月分)で支えて下さい。年会費は個人一口2000円、団体一口3000円です。よろしくお願いします。

### ◆◆◆ 郵便局 振替口座 ◆◆◆

口座番号 00120-8-763817

加入者名 すべての原発いますぐなくそう!全国会議  
 銀行口座からの振込の場合 ○一九店 0763817

※振り込みの際は、「年会費〇人、〇団体分」  
 「保養カンパ」などお書き下さい



■変える力はこちらにある!私たちが歴史を動かす!

## 3.11反原発福島行動'16

と き 3月11日(金)12時開場 13時開会  
 15時 郡山駅へデモ出発

ところ 郡山市・開成山野外音楽堂

主催 3・11反原発福島行動実行委員会  
 080-3324-0311(橋本) FAX 024-575-5124



## NAZEN会計報告

昨年1年間、みなさまの暖かいご支援によってNAZEN活動、北富士保養を行うことができました。ご報告し、御礼申し上げます。

### ●2015年度一般会計 (2015年1月1日 ～2016年1月30日)

収入	
繰り越し	64.542
会費	517.250
通信代金	237.875
カンパ	108.000
会場費	10.300
雑収入	6.000
収入計	943.967

支出	
旅費・泊費	333.020
発送費用	307.815
印刷代	157.573
会場費	8.400
賛同金	24.353
救援カンパ	5.080
諸経費	30.857
支出計	867.098
残高	76.869

### ●2015年北富士保養 (2014年9月 ～2015年8月)

繰り越し	254.406
カンパ総額	838.974
参加費	188.300
支出総額	1133.805
残金	147.875

### ●2016年北富士保養 (2015年9月 ～2016年1月)

収入	
繰り越し	147.875
カンパ	80.001
パンフ売上	70.850
収入計	298.726
支出	
千葉保養参加	11.420
送料	990
支出計	12.410
現残高	286.316
(目標は100万円です!)	

### ◆◆◆ 診療所基金はこちら ◆◆◆

福島診療所建設委員会の口座へ

★郵便振込口座 02200-8-126405

福島診療所建設基金

★銀行口座

福島銀行 本店(110)普通 1252841

福島診療所建設基金 代表 渡辺 馨

★PayPalでのお振り込み

アカウント

clinicfukushima@yahoo.jp

渡辺馨(福島診療所建設委員会)

